

## 1. 研究について

### ★渡体研が目指す子供像！

「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」

～子供が運動の楽しさに触れた・がんばれた・共に成長したと感じる授業実践を通して～

## 2. 渡島支部の研究内容について

【渡島体育研究会新研究主題】

『豊かなスポーツライフの実現をめざした「ともに学びをつくる」体育学習』  
～楽しさ・喜び・おもしろさを実感し、追究する子供の育成～

<研究仮説>

教師と子供達が「ともに学びをつくる」体育学習を実践することにより、一人一人が運動のもつ楽しさ・喜び・おもしろさを実感することができ、それらをさらに追究しようとする中で、「主体的・対話的で深い学び」や「協働的な学び」が効果的に展開され、体育科の目標である基礎的な身体能力や知識が身に付くとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を育成することにつながるだろう。

〔目指す子供の姿〕

○運動のもつ楽しさ・喜び・おもしろさを「実感」する子供 ○運動のもつ楽しさ・喜び・おもしろさを「追究」する子供

★主題設定にかかわる資料の一部★

## 3. 主な活動報告

### ①夏季研修会(8月17日)

夏休みに夏季研修会を実施しました。新研究主題の設定にかかわる説明、ICTを活用した体育実践の交流、渡島体育研究会の新サイトの活用方法など、様々な内容について多くの先生方と情報を共有することができました。久しぶりの対面・集会形式での研修となりましたが、研修に参加する姿勢や先生方の熱量から、あらためて対面式の良さを感じることができ、学びを深める良い機会となりました。今後は、1月に実施される第19回渡島体育研究集会に向け、研究内容のさらなる具体化、研究発表授業の準備、実技研修の準備など、各部でさらなる準備を進めていきます。



## ②第 19 回渡島体育研究集会(1月26日)

(1)授業公開 ネット型球技「ソフトバレーボール」松前町立松城小学校教諭沢田拓朗

(2)授業公開 ダンス「現代的なリズムのダンス」長万部町立長万部中学校教諭久保田孝平

(3)実技研修会 『ジャイロキネシス®(GYROKINESIS®)』

コロナ禍を経て、久しぶりに全員が顔を合わせたなかでの会同開催となり、同日に実技研修会も開催いたしました。松前町立松城小学校の沢田拓朗先生「ソフトバレーボール」と、長万部町立長万部中学校の久保田孝平先生「現代的なリズムのダンス」の授業ハイライト動画視聴をした後に研究協議が行われました。どちらの授業も新研究主題にせまる素晴らしい授業を展開していました。研究協議でも活発な意見交流が行われました。そして、実技研修会では、『ジャイロキネシス®(GYROKINESIS®)』認定トレーナーの伊藤凧香さんを講師に迎え、激しい運動が苦手な人から各種スポーツの技術向上にも役立つエクササイズでリフレッシュしました。



### 研究発表授業から見た成果と課題

#### 成果

- ①フェアプレイを学習の様々な場面で意識させることにより、子供達の授業に対する主体性や意欲も高まっていく。
- ②単元をとおして、子供達が選択・決定・修正・改善・創造するような「学びをつくる」活動を位置付けることで、子供達の授業に対する必要感や期待感も高まっていく。
- ③「ともに学びをつくる」という視点で毎時間の授業を進めていくことが、子供達の運動に夢中で取り組む姿を引き出す。

#### 課題

- ①「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方をさらに具体化し、楽しさの実感や追究へとつながる活動にしていく。
- ②子供達の必要感や期待感と運動のもつ楽しさがリンクするよう、「学びをつくる」活動の内容を吟味していく。
- ③子供達が主体性を発揮できるよう、その運動をとおして実感・追求していく楽しさの内容を、特性と実態の視点から吟味していく。

渡島体育研究会←  
ニュース部サイト←



渡島体育研究会←  
ホームページ←

